

## 飲食店、安全衛生リスク

1#	●労働災害 減少。小規模企業、三次産業/非正規労働 増加。飲食業 全労働災害の4%。
2	
3	●対策:
4	法令遵守
5	安全衛生管理体制: 旗振り:衛生推進者、安全推進者(法的には従業員10名以上)安衛推進者講習は有益
6	健康管理: メンタルヘルス、自殺、ハラスマント、治療と職業生活の両立、受動喫煙、感染症、
7	非正規就労者: 若年・深夜早朝勤務、外国人労働者、雇入れ時・作業転換時の指導(作業手順の急所)、チェーン店過重労働(時間外)
8	高齢者配慮: 段差・凸凹解消、作業軽減(無理な作業、重量物、急激な動作、長時間の同じ姿勢)、照明
9	4S活動: 整理(余計な物を無くす)、整頓(指定部位に戻す)、清掃、清潔、
10	KY(リスクアセスメント、QCサークル): 災害の危険性を意識する
11	「危険の見える化」: 危険マップ(職場の平面図などに事故が起こりやすい場所を記入、見やすい場所に設置して危険な場所を意識しやすくする)、危険ステッカー(危険内容を警告するステッカー、事故が発生しやすい場所に貼っておくことで注意を促す)
12	コミュニケーション: 報連相、見守り、指導、意見が言える職場、外国人労働者・技能実習生(google翻訳)
13	
14	●問題解決:
15	3ステップ: 1. 問題把握(何が起きた、三現)、2. 原因追究(なぜ起きた)、3. 解決策(どうする)
16	手法: 3つに分けて考える: 人、物、やり方(手段)
17	対策の効果を確認する: 歯止め(標準化、再発防止)、定着
18	
19	●問題: 安全な厨房の実現をめざして、対策を考えてみよう。今回「注意をする」は除く。
20	A. 転倒: 労災事例の1/4。
21	1.「床の材質が滑りやすく更に水や油などで床が濡れており、足を滑らせて、尻を打撲した」
22	2.「暗くて床が凸凹(段差がある)に気づかず、つまずいて、手を骨折した」
23	3.「古い長靴で作業し、滑って、尻を打撲した」
24	4.「戸棚や床に置いた保存容器、調理器具、ワゴン、カート、台車になどに足を引っ掛け、手をすりむいた」
25	5.「大きな箱、重量物を持って運搬時、転倒して、尻を打撲した」
26	6.「排水溝清掃後、排水口の蓋がはずれたままで、転倒し、頭部外傷で入院した」
27	
28	B. 切れ、こすれ:
29	1.「切れない包丁で力を入れて調理したら指を切った」
30	2.「下処理の食品に部分的に硬い、または、凍結部分があり、包丁が滑って指を切った」
31	3.「調理中の不注意で、包丁が滑って、手を切った」
32	4.「まな板拭いていたら、何気なく置いてあった包丁の刃に指が触れて、指を切った」
33	5.「洗い物をしているときに、欠けた食器や包丁の存在に気がつかず、手を切ってしまった」
34	6.「壊れたガラスコップを手で片付けようとして、指を切った」
35	7.「保存した缶から中身を取り出そうと手を入れたら、缶の開け口のギザギザに触れて、手を切った」
36	
37	C.はさまれ、巻き込まれ:
38	1.「餡混練機の運転停止を待たずに食品機械内部の清掃を始めて、指を巻き込まれて手を骨折した」
39	2.「製麺用ロール機の運転中の食品機械の食品詰まりを手で取り除いたら、軍手が巻き込まれ指を骨折した」
40	3.「パンスライサーのパン押さえ器具を使わずに作業をして、指を切った」
41	4.「ホールスタッフが、開いた袖口と長い裾の上着の裾のまま、スパゲッティ混練器械の作業を手伝い、機械に服を巻き込まれて、腕を打撲した」
42	
43	D. 高温・低音物との接触: やけど:
44	1.「熱い汁物の大鍋の中身を別の容器に移す際にこぼして、足をやけどした」
45	2.「熱いスープの大鍋をこぼさないように静かに運搬中、作業中の従業員の後ろを通った時、突然振り向かれて、接触した為鍋の中身をこぼしてしまい、腕をやけどした」
46	3.「フライ作業中に、露出した腕に油が飛んできて、腕をやけどした」
47	4.「長靴の履き口が広く、鍋の運搬時に熱湯がこぼれて入り、やけどした」
48	5.「滑って転びかけたので思わず手を伸ばしたら、コンロに触れて手をやけどした」
49	6.「フライヤーからの抜き出し高温廃油回収時に、油がはねて、やけどした」
50	7.「圧力釜の蓋をゆるめた時、蒸気が噴出しやけどした」
51	
52	E. 動作の反動・無理な動作: 腰痛:
53	1.「使用中の一斗缶を動かそうと、軽いものと思い中腰で持ち上げたら、ぎっくり腰になった」
54	2.「シンクが低く、腰をかかめなければならず、腰痛となつた」

55	3.「調理台が低いので、前屈となり、腰が痛い」
56	4.「配膳・運搬作業における、台車とテーブルの高さが違うので、前屈を繰り返して、腰が痛い」
57	
58	F. 墜落、転落:
59	1.「ロッカ一天井の箱を取るため、回転椅子を踏み台にして、墜落し背骨を骨折した」
60	2.「調理台の天井に置いた調理具を取る為、脚立の天台に乗って墜落し、頭部外傷となった」
61	3.「配膳のため、盆の上に料理をのせて階段を降り、足を踏み外して転落し、腰を打撲した」
62	
63	G. 衝突
64	1.「厨房とホールの連絡口で、従業員が衝突して、顔を打撲した」
65	
66	H. 熱中症:
67	1.「地下厨房で換気が悪く、熱がこもり、気持ちが悪くなつて気絶した」
68	
69	I. 一酸化炭素中毒
70	1.「換気扇が故障で来週修理予定であったが、そのまま開店の準備の為調理を始め、意識をなくして倒れた」
71	
72	J. 交通事故:
73	1.「デリバリー時、スクーターで3車線交差点を右折時、小回り右折をし、対向車両と衝突事故をおこした」
74	
75	K. 感染症
76	1.「客・従業員共用トイレで、忘年会客の嘔吐物をトイレットペーパーで処理したら、翌日に下痢・発熱しノロウイルス感染症と診断された」